

## V. 甲南新世紀ビジョンを実現するための

### 基本方針および施策(戦略)

甲南大学は、人物教育率先の理念を持ち、人文科学・自然科学・社会科学の学問分野を備えた「メディアムサイズの総合大学」です。その特長である「学問分野の広がりを保ちながら隅々まで行き届く質の高い教育」および「学部を超えて集う人たちが自然に交じり合い融合するキャンパス」の一層の発展をはかり、新世紀ビジョンの実現に取り組んでいきます。その取り組みにあたっては、学部、大学院、センター、研究所、部局の一層の充実、教学新機軸の確立、**Active-Interactive** キャンパスの整備・魅力化およびこれらを支える教育改革の基盤整備を柱に、上記の方針に沿った施策を推進していきます。

## 1. 教学新機軸の推進

甲南新世紀ビジョンを実現するための施策の基軸として以下の教学新機軸(1)～(5)を進めていきます。

### (1) “顔がわかる” 少人数教育の推進

隅々まで行き届く質の高い教育を実現するために、大規模授業の少人数化(定員の実質化、講義1クラス学生数150名以下、カリキュラムの精度向上、S/T比率の実質的向上)など授業規模の最適化をはかるとともに、IC学生証による出席管理や予習・復習に活用できる講義収録配信のシステム化などの環境整備を推進します。また、個性を力にできる才幹を育むために、学生の学びや活動を記録・可視化し、フィードバックする「学修ポートフォリオ」や、成績評価に表れにくい学生の力を評価認定する「KONANサーティフィケート」\*など、学生一人ひとりの成長を支援・促進する独自の制度を充実させます。

\* 「KONANサーティフィケート」……2015年9月に、留学や国際交流の経験などを評価する「KONANグローバルサーティフィケート」、多くの本に親しみ図書館情報を活用する能力などを評価する「KONANライブラリサーティフィケート」の2つが始まり、2016年9月からは、スポーツを通じて身につけた力などを評価する「KONANスポーツサーティフィケート」、ボランティア活動の経験などを評価する「KONANボランティアサーティフィケート」が加わりました。

### (2) アクティブ・ラーニング(能動的学習)の推進

教育の質的向上をはかるために、「教育学習支援センター」を中心に、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、ディベートなどアクティブ・ラーニングを推進する新しい授業形態の拡充・開発を推進します。また、PBL(Project-Based Learning)モデル授業の開発、ラーニング・コモンズの拡充・整備を進めるとともに、グループワークにおけるファシリテーションやライティング・サポートの充実、学習支援に関わる学生アシスタントの育成(Teaching Is Learning、TIL制度の整備)などの支援体制整備を積極的に行い、アクティブ・ラーニングの特色化をはかります。



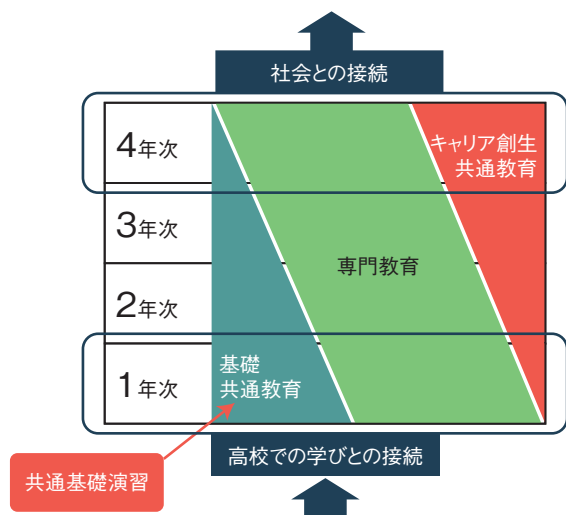
ラーニング・コモンズ(2013年度～)



中規模アクティブ・ラーニング教室(2015年度～)

### (3) 革新的共通教育の推進

学びの視点を増やし、柔軟な思考を育成して将来の可能性を一層広げるために、共通科目の充実を推進します。とくに初年次から学部の特長を越えて学ぶ姿勢を実践的に身につけることを目標として2016年度から導入した共通基礎演習の内容をさらに進化させ、大学での学びへの円滑な導入をはかります。また、おもに高学年を対象に「キャリア創生共通科目」を置き、そこで身につけた専門的な知識を自らのキャリア形成に活かし、社会で活用できる能力を養成します。



共通基礎演習

革新的共通教育の推進(2015年度～)

### (4) 融合型グローバル教育の推進

国際社会で求められる「グローバル人材」の素養として、(1)チャレンジ精神、(2)多文化理解力、(3)タフネス、(4)主体的行動力、(5)英語によるコミュニケーション能力\*を重視します。これらを涵養することをめざして、どの学部に入學しても専門科目を学修しながら外国語や国際社会に関する理解などを身につけることのできる「融合型グローバル教育」を推進します。とくに目標にあわせて高度なレベルまで学べる外国語教育、言語文化からグローバルなビジネススキルまでの多様な国際理解教育、優れた実績と手厚いサポート体制を持つ留学制度、グローバルゾーン“Porte”を一層充実・発展させます。

\*甲南版『社会が求めるグローバル能力』：2016年6月11日、甲南大学教学アドバイザー・ボード第3回会合の提言



グローバルゾーン“Porte”



## (5) 地域連携・ボランティア教育の推進

地域連携・ボランティアに関わる拠点として整備した「地域連携センター」を中心に、地域連携活動を拡充し、教育のなかに明確に位置付けて展開します。すでに活動を開始している東灘区、岡本商店街振興組合、神戸市、堺市、神戸新聞社などとの連携を一層強化し、学生が地域で学ぶ環境を整えていきます。これにより、大学が地域と共に発展できる関係を構築し、地域に貢献する社会人を育成します。



神戸市との包括協定



堺市との包括協定



神戸新聞社との包括連携協定



学生による地域連携・ボランティア